

医師



検査科のご案内

検査科部長 加藤 文一

検査科って何をするとおっしゃいますか？患者さんにとっては、採血や検尿・検便といった検査を思いつく方が多いかと思いますが、検査科ではこういった検査はもちろん、他の検査業務も行っております。

当院の1階採血室では、おなじみの肝臓、腎臓の機能や、脂質代謝、血糖値や糖尿病関連、甲状腺などのホルモンや、検尿、検便、髄液検査なども請け負っています。

ほかには、輸血、細菌検査室があります。輸血検査では、主に輸血を受けられる患者さんの血液型や感染症の事前チェックと、輸血後の経過観察、血液製剤の保管を行っています。

細菌検査室では、発熱している患者さんの痰、血液、尿などの検体を用いて細菌がいるかないか、いるとしたらどんな抗生剤を使用したらよいかを検査しております。

2階の生理検査室では、心電図、ABI(足関節上腕血圧比)、呼吸機能検査、脳波、筋電図などの波形解析が必要な検査や、超音波装置を使った生体内のリアルタイムの情報を取り出すような検査も行っております。たとえば、体表面エコーでは甲状腺、乳腺の形態の観察や悪性腫瘍のスクリーニング検査などです。また血管エコー図では動脈硬化の程度、狭窄の評価や静脈では血栓症の有

無なども検査しております。腹部エコー図では内臓の形態、一部の臓器の悪性腫瘍のスクリーニング、心臓領域では心機能、弁膜症の評価も行っております。また臓器によっては超音波ガイド下での病理検体の採取や治療も行っております。

また、検査室では行えませんが、各科の先生方と協力して手術中の生体機能モニターなどにも出張しております。他には、睡眠時無呼吸検査のための入院あるいは自宅でもできる睡眠ポリグラフ検査も行っております。

健診センターでは、健康診断や人間ドックに必要な採血、検尿、検便、心電図や呼吸機能検査、聴力測定や眼底写真なども行っております。

いずれの検査においても、各専門分野の学会認定の検査技師を中心に行われており、可能な限り迅速で質の高い検査データを報告するようにしています。また、検査の一環として院内の感染制御チームや栄養サポートチームにも帯同して一緒に活動しております。

時期や、受診日によっては大変込み合っていてお待たせすることがあるかもしれませんが、迅速で正確なデータ報告のため頑張っておりますので、どうかよろしくお願いたします。

★「フィリア・レター」は、中部ろうさい病院が、患者さんに向けて当院の現況や新しい医療情報などを発信したり、患者さまの建設的な意見を反映する広場として発行しています。